

## 市長施政方針

### (はじめに)

新型コロナウイルス感染症は、令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市における病原体不明の肺炎患者の発生が報告されたことに端を発し、令和2年1月15日に、国内で初めて患者の発生が確認されました。

以来、2月16日時点の国内の感染者数は約41万人、死亡者数は約7千人規模に上り、江田島市内においても一時クラスターの発生が認められるなど、いまだ収束の兆しは見られません。

この新たな疾病により、2度にわたる緊急事態宣言、人と人の接触機会の低減要請、飲食店等への営業時間の短縮要請、イベント等の制限などが生じ、私たちの日常生活に大きな影響を与えるとともに、社会構造の再構築を迫られるものとなりました。

マスクの着用や手洗いのほか、人と人の密集状況の回避、身を守るためのワクチンの接種など、人類は、この新たなウイルスとの闘いへの知見を着実に積み重ねておりますものの、収束まで予断を許さない状況が続くと考えられます。

また、収束後も、疫病リスクに対する社会の脆弱性が明るみとなったことにより、この疾病の発生前とは様相が異なる社会への変革が、急速に進展することが予想されます。

令和2年12月に閣議決定された「国民の暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、ポストコロナに向けた経済構造への転換が、施策の大きな柱に据えられております。

また、同月に発表された、広島県の「県政運営の基本方針2021」では、社会環境の変化を見据え、デジタル化の促進や広島県のブランド強化などが掲げられております。

疾病のまん延下にあって、市民の皆様の暮らしや経済を最大限守る「withコロナ」。

収束後の新たな社会を見据え、その対応を図る「afterコロナ」。

令和3年度にあっては、この2つの視点を踏まえつつ、市政を運営してまいります。

次に、我が国全体の課題であり、かつ、本市にとって、直面する喫緊の課題である人口問題についてでございます。

本市の令和3年1月1日現在の人口は、2万2,356人でございます。

前年同日の人口は、2万2,932人であり、1年間で576人もの減少となっております。

減少の内訳は、出生と死亡の差引である自然減が370人、転入と転出の差引である社会減が206人となっており、いまだ人口減少傾向の改善に向けた糸口を掴めてはおりません。

人口減少は、道路河川・上下水道などの社会インフラ、地域のコミュニティ、地域内の消費やしごとの場、医療・介護の担い手など、本市の暮らしを支える機能を弱体化させ、今ある暮らしの水準の維持すら困難を生じさせる、非常に大きな課題でございます。

こうした課題をしっかりと認識した上で、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、人口問題についても、これまで以上の危機感を持って、全力で取り組んでまいります。

令和3年度の市政運営においては、限られた財源の中で、疾病予防や日常を支える機能の維持という生活を守る施策と、疾病収束後を見据えた経済活動や社会構造の変化に対応する攻めの施策を、その時々々の状況を踏まえつつ柔軟に対応する必要があります。

市民の皆様の豊かな暮らしを守るとともに、次の世代に、その豊かさを引き継いでいく。

このことを念頭に、社会全体が大きな変革期にある中での市政運営に、全身全霊で取り組んでまいります。

### (予算編成方針)

平成30年に発生した豪雨災害は、市内各地に大きな被害を与え、その復旧に多額の費用を要しました。

復旧工事が行われるまでの間、市民の皆様には多大な御迷惑をお掛けしましたが、令和3年度で、概ね市の施工箇所は完了する見込みでございます。

令和3年度予算においては、この災害復旧費の減のほか、歳出抑制を図ったことにより、一般会計の予算規模は約140億円、前年度と比べ約19億円の減少となっております。

歳入は、約1億1千万円の市税の減を見込んでおり、基金繰入は、特定目的基金の取崩しを含め約5億7千万円を計上するという、厳しいものとなっております。

しかしながら、先程申し上げたとおり、「withコロナ」「afterコロナ」、そして人口減少への対応は、経営資源を集中的に投資し、最優先で取り組むべき課題でございます。

令和3年度予算では、令和2年度事業の繰越分も組み合わせつつ、新型コロナウイルス感染症への対応に全力で取り組むとともに、「しごとの創出」「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸」の3つの重点テーマを掲げた上で、「協働と交流で創り出す『恵み多き島えたじま』」、そして、「住む人も、訪れる人も『ワクワクできる島』えたじま」づくりに取り組んでまいります。

それでは、まず、新型コロナウイルス感染症への対応についてでございます。

これにつきましては、これまで、令和2年度補正予算において、

- ・消毒液やマスクの各施設への配置などによる「感染症予防」
- ・子育て世帯や生活困窮者等への給付、交通事業者が実施するコロナ対策への補助などによる「暮らしの確保」
- ・市内事業者が受けた融資額の一部支援、飲食店で活用可能なプレミアムお食事券の発行などの「経済活動への支援」
- ・ICTを活用して児童生徒の学習支援を行うGIGAスクール事業、移住定住ポータルサイトの新設などによる「新たな社会への対応」

など、疾病まん延下にあっても、市民生活を守り、次なる社会に備える取組を精力的に実施してまいりました。

令和3年度においても、引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応に、全力を尽くしてまいります。

なお、令和3年1月28日に成立した、国の令和2年度補正予算（第3号）を踏まえた本市のコロナ対策の取組事業について、現在、整理を行っているところであり、別途、令和3年度補正予算として、議会にお諮りする予定でございます。

このため、この場においては、令和3年度当初予算に計上しているものを中心に述べさせていただきます。

まず、「暮らしの安心の確保」として、令和2年度補正予算として上程させて頂いた新型コロナウイルスのワクチン接種を着実に実施するとともに、公共施設などで必要となる消毒液やマスクその他の消耗品を確保いたします。

次に、「経済の活力づくり」として、事業者の皆様による after コロナを見据えた施設整備や販路開拓などを「江田島市がんばりすと応援事業」で支援するとともに、「無料職業紹介事業」により、求職者への仕事の紹介を図ってまいります。

次に、「新たな暮らしの潮流への対応」として、地方回帰の流れを見込み、メディアへのプレスリリースの配信などによる本市のPR、移住交流拠点施設フッドを活用した市内外の人々の繋がりづくりなどにより、本市への移住者の確保や、サテライトオフィスの誘致を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症は、刻々とその状況が変化いたしますので、それに応じた適切な事業を、迅速かつ柔軟に対応してまいります。

続きまして、重点テーマであります「しごとの創出」、「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸」についてでございます。

まず、1点目の「しごとの創出」についてでございます。

まず、第1次産業の振興については、就農ハウス設備等の整備や新規農業・漁業就業者への経費支援、稚魚の集中放流の実施などにより、新たな担い手の確保や資源の増進を図るとともに、捕獲報償金の支給や防除施設の設置補助などにより、有害鳥獣被害の抑制を図ってまいります。

また、「しごと」を市内に創出すべく、成果を生み出しつつあるサテライトオフィスの誘致促進や、「江田島市がんばりすと応援事業」による、市内での起業や新分野進出、ブランド化などに取り組む事業者支援を実施いたします。

また、市商工会との連携のもと、「市商工会補助金」や「商工業等振興資金補助金」等により、市内事業者の事業継続や経営安定、生産性の向上などの総合的な経営支援を実施してまいります。

また、観光産業の振興のため、長瀬海岸付近の新ホテルの周辺を整備するとともに、現在開催中の「えたじまものがたり博覧会」など、各種観光イベントを実施してまいります。

また、企業の誘致や生産性向上などにより生み出す「しごと」について、「無料職業紹介事業」により、求職者との着実なマッチングを図ってまいります。

本市の転出超過の最も大きな要因は、依然として「しごと」を理由とするものであり、市内へ「しごと」を創出することは、就業世代の市内定着及び移住者の確保に、大きな効果を発揮することが期待できます。

本市の「しごと」づくりは、幸いにして、新ホテルのほか、旧秋月小学校への工場進出、首都圏のIT企業のオフィス進出などの明るい兆しが芽吹き始めております。

「しごとの創出」は、人口減少傾向の改善に、即効性があり、かつ、有効な手段であるとの認識のもと、取組を進めてまいります。

次に、2点目の「子育てしやすい環境づくり」についてでございます。

妊娠に向けた支援として、不妊治療費助成の対象を、現在の特定不妊治療に加えて、不妊検査・一般不妊治療にまで拡大し、出産に関する希望を叶えるお手伝いをいたします。

また、妊娠期・出産期における支援として、産婦健康診査費の助成対象回数を拡充するとともに、産後ケア事業の対象に、新たに宿泊型事業を追加いたします。

また、幼少期の子育てを応援するため、認定こども園きりくしの新築工事の設計を実施するとともに、会員相互で子どもの一時預かり等を行う「ファミリーサポートセンター」や病児・病後児保育の着実な運営を行い、親子ともに安心して島で子育てができる環境を整えてまいります。

また、児童生徒に対しては、授業の質を高めるため、市内小中学校に指導者用デジタル教科書を導入するとともに、外国語指導助手の派遣や英語検定の費用を助成するなど、確かな学力の定着・向上を図ってまいります。

また、「さとうみ科学館」における「里海学習」などにより、本市の豊かな環境を生かした教育活動を展開してまいります。

さらには、乳幼児医療費助成について、小学校6年生修了までとしている入院助成の対象者を、中学校3年生修了時まで拡充するとともに、通学定期券の購入補助制度を継続することなどにより、子育てに要する経費負担の軽減を図ってまいります。

子供たちは、未来を担い、切り開いていく大切な存在でございます。

近々、子育て世代包括支援センター周辺整備工事で、元気に遊ぶことができる子育て広場の整備にも着手いたします。

これらの取組により、大切な宝である本市の子供たちが、安心して生まれ、学び、育つことができる環境を整えてまいります。

次に、3点目の「健康寿命の延伸」についてでございます。

市民の皆様が、明るい暮らしを送るために大切なのは、御自身が健康であることでございます。

このため、病気のリスクを発見し、重症化を防ぐため、生活習慣病健診の実施やがん検診の受診勧奨、予防接種費用への支援を行ってまいります。

また、高齢者の皆様が地域で自立した生活を営むための阻害要因であるフレイル(虚弱)を予防するため、訪問活動や予防教室などを実施するとともに、健康相談や健康づくり教室による生活習慣病などの発症予防、食育講座や食育体験による健全な食生活の普及などに取り組み、市民の皆様一人一人の健康づくりのお手伝いをしてまいります。

また、地域で活動する「つどいの場」の運営支援や、参加に対するマイレージポイントの付与、高齢者の皆様が住み慣れた地域で暮らし続けるための相談受付・適切な支援への移行などに引き続き取り組んでまいります。

また、高齢者の皆様による自らの知識技能を活かした地域社会づくりへの参画や、サークル活動を通じた生きがいづくりなどを推進するため、シルバー人材センターや老人クラブの活動を支援してまいります。

健康寿命の延伸に取り組むことにより、市民の皆様が、明るく元気に、安心して地域で暮らしを営むことができる江田島市づくりを図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症のまん延により、社会情勢は、数か月単位で目まぐるしく変化しており、市政においては、その時々的情勢に応じた必要な施策を、スピード感を持って展開していくことが求められております。

令和3年度予算においては、当初予算のみならず、必要に応じて補正予算を編成し、この国難ともいふべき非常事態に、柔軟かつしっかりと対応していく必要がございます。

このため、今回の予算は、決意の意味を込め、『暮らしと経済を守り抜く予算』と名付けたいと考えております。

### (令和3年度当初予算の概要)

令和3年度の当初予算は、一般会計が前年度と比べ「18億5千万円」11.7%減の139億7千万円といたしました。

また、特別会計は9会計で、前年度と比べ「3億9千8百万円」5.0%減の76億2千万円、企業会計は2会計で、前年度と比べ「1億5千8百万円」4.6%減の32億5千万円といたしました。

企業会計を含む総予算規模は248億4千1百万円で、前年度と比べ「24億7百万円」8.8%の減でございます。

一般会計の内容を歳入から見ますと、市税は、納税義務者数や個人所得の減少見込みによる個人市民税の減少、土地評価額の下方修正や中小企業・小規模事業者への軽減に伴う固定資産税の減少などにより、前年度と比べ1億9百万円(▲4.5%)の減でございます。

地方交付税のうち普通交付税は、地域社会のデジタル化推進経費などの算定見直しなどを考慮し、前年度予算と同額を見込んでおります。

国庫支出金は、災害復旧費国庫負担金の減少などにより、1億2千4百万円(▲9.9%)の減、県支出金は、広島県知事選挙、衆議院議員総選挙の実施予定に伴います、委託金の増などにより7千万円(8.8%)の増としております。

市債は、三高交流プラザの整備負担金の完了、災害復旧事業などの減少により、前年度と比べ5億3千2百万円(▲29.1%)の減としております。

なお、先程も申し上げましたとおり、財源調整として、前年度と同様、基金の取り崩しを行っており、今回の予算では、財政調整基金から5億3千万円を見込んでおります。

一般会計におけるプライマリーバランスは黒字となり、令和3年度末の市債残高は、令和2年度末に比べ、6億3千6百万円減少する見込みでございます。

歳出におきましては、義務的経費は、障害者福祉費、小中学校の就学援助費の増加による扶助費の増があるものの、職員数の減少による人件費の減、合併前に借り入れた市債の償還終了に伴う元利償還金の減少などによる公債費の減により、全体で7千9百万円(▲1.1%)の減としております。

投資的経費については、平成30年7月豪雨災害に伴う災害復旧費が4億5千1百万円（▲97.5%）の減のほか、社会資本整備総合交付金等の国・県補助金を活用した、道路維持・道路改良事業、排水機場改修事業などに伴う、補助事業が1億3千7百万円（▲31.2%）の減、港湾建設事業県負担金などの減少による県営事業負担金が2億5千万円（▲70.2%）の減としております。

また、単独事業は、認定こども園のうみ新築工事の完了などにより、2億1千7百万円（▲20.6%）の減となり、全体で10億5千6百万円（▲45.6%）の減としております。

補助費等については、魅力ある宿泊観光関連施設整備事業の新ホテル等整備事業補助金の減などにより6億2千1百万円（▲23.2%）の減、繰出金については、地域開発事業特別会計への繰出しの減少などにより、4千8百万円（▲4.3%）の減としております。

### （主要施策）

それでは、令和3年度の主要施策について、第2次総合計画に掲げる7項目の施策体系ごとに、新規・拡充事業を中心に御説明いたします。

まず、1点目の、教育・文化部門である「人が育ち、輝くまち」についてでございます。

- ① ICT教育を推進し、個々の学びに合わせた支援ツールとして活用するため、市内の全小中学校に指導者用デジタル教科書を導入いたします。

（事業名：【拡充】小中学校デジタル教科書購入事業） ※予算概要P24, 48

- ② 子育て世代の負担軽減を図るため、市内を発着点とする公共交通機関の通学定期券を割引販売する事業者への補助を実施いたします。

（事業名：【継続】学割パス事業（通学定期券購入補助金）） ※予算概要P23

- ③ ふるさとを愛する豊かな心を持ち、地域の発展に貢献できる児童生徒を育むため、地域学習の充実や地域人材の活用などを実施いたします。

（事業名：【継続】ふるさと実感事業補助金） ※予算概要P23

- ④ 大柿高校の活性化を図るため、魅力化コーディネーターの配置や公営塾の運営支援、地域学の学習支援などを実施いたします。

（事業名：【継続】大柿高等学校魅力化コーディネーターの配置）

（事業名：【継続】大柿高等学校魅力化事業補助金）

（事業名：【継続】大柿高等学校活性化補助金） ※予算概要P23

- ⑤ 図書館の利用促進と図書への関心を喚起するため、江田島図書館開館30周年を記念した講演会の開催などを実施いたします。

（事業名：【新規】江田島図書館30周年記念事業） ※予算概要P24, 40

次に、2点目の、産業・観光部門である「元気な産業・観光を生み出すまち」についてでございます。

- ① 本市の農業を取り巻く状況や土地利用状況などを踏まえつつ、農業振興と地域開発等の調和のとれた農業振興地域整備計画を策定するための調査を実施いたします。

（事業名：【拡充】農業振興地域整備計画策定事業） ※予算概要P25, 49

- ② 第1次産業の担い手確保を図るため、農業・漁業の新規就業者が独立する際の必要経費を支援いたします。
- (事業名：【継続】新規就農者支援対策事業費補助金)
- (事業名：【継続】新規漁業就業者支援事業補助金) ※予算概要P25, 26
- ③ 有害鳥獣の防除のため、捕獲に対する報償金の支給や防除施設の設置に対する補助を実施いたします。
- (事業名：【継続】有害鳥獣捕獲報償金)
- (事業名：【継続】有害鳥獣防除用施設設置事業補助金) ※予算概要P25
- ④ 企業に対する情報発信やお試し勤務企画の開催、サテライトオフィス等の開設経費への支援などにより、IT企業等の誘致を図ってまいります。
- (事業名：【継続】しごとの場創出事業) ※予算概要P26
- ⑤ 観光戦略チーム「一步」の取組として、本市の魅力的な体験観光プログラムを集めたイベント「えたじまものがたり博覧会」を開催いたします。
- (事業名：【継続】「えたじまものがたり博覧会」等事業) ※予算概要P26

次に、3点目の、福祉・保健部門である「健康で安心して暮らせるまち」についてでございます。

- ① 不妊治療の助成対象を、体外受精等を行う特定不妊治療に加え、不妊検査や人工授精等を行う一般不妊治療まで拡充いたします。
- (事業名：【拡充】不妊治療費助成事業) ※予算概要P28, 47
- ② 子育て世帯の負担軽減を図るため、現在小学校6年生までとしている乳幼児等医療費の入院分の対象を、中学校3年生までに拡充いたします。
- (事業名：【拡充】乳幼児等医療費助成の対象者拡大) ※予算概要P27, 45
- ③ 認定こども園きりくしを、(仮称)切串交流プラザとの複合施設として移転新設するための設計を実施いたします。
- (事業名：【新規】認定こども園きりくし新築事業) ※予算概要P28, 39
- ④ 高齢者の皆様のフレイル(虚弱)を予防し、健康づくりを推進するため、実態把握のための調査や予防教室の開催、フレイル予防ボランティアの募集などを実施いたします。
- (事業名：【拡充】フレイル予防対策事業) ※予算概要P28, 47
- ⑤ 障害者の皆様の負担を軽減するため、通所・通院に要する交通費の一部を支援いたします。
- (事業名：【拡充】障害者施設等通所・通院交通費助成事業) ※予算概要P27, 45

次に、4点目の、生活・環境部門である「生活と環境を守り、高めるまち」についてでございます。

- ① 環境保全の取組を推進するため、現行の環境基本計画を更新策定いたします。
- (事業名：【拡充】第2次環境基本計画策定事業) ※予算概要P29, 48

- ② 里山林に親しんでいただくため、野登呂山（宇根山）と砲台山（三高山）をつなぐ登山道を整備いたします。  
（事業名：【継続】里山林整備事業） ※予算概要P30
- ③ 美しい海と海洋資源の保全を図るため、放置艇を処理いたします。  
（事業名：【継続】放置艇処理委託） ※予算概要P30
- ④ 下水道計画区域外等の水洗化を促進するため、合併浄化槽の設置を支援いたします。  
（事業名：【継続】合併浄化槽設置補助金） ※予算概要P29
- ⑤ 人権啓発推進プランに基づき、人権啓発の取組を実施いたします。  
（事業名：【継続】人権啓発一般事業） ※予算概要P29

次に、5点目の、安全・安心部門である「災害に強く、安心して暮らせるまち」についてでございます。

- ① 広島広域都市圏内で避難行動が必要となった際に、最寄りの避難所の情報や避難経路が取得可能となる誘導アプリを導入いたします。  
（事業名：【新規】避難誘導アプリ導入事業） ※予算概要P31, 41
- ② 災害時の被害軽減等を図るため、防災資材の補充・整備を実施いたします。  
（事業名：【継続】防災資材購入事業） ※予算概要31
- ③ 消防団の充実強化を図るため、秋月消防屯所を移転新築するとともに、大幸消防屯所の改修に向けた設計を実施いたします。  
（事業名：【新規】消防屯所整備事業） ※予算概要P32, 39
- ④ 救急救命士や救急隊員の養成・研修教育により、救急高度化を推進いたします。  
（事業名：【継続】救急救命士養成事業） ※予算概要P32
- ⑤ 安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯外灯の整備及び維持管理を実施いたします。  
（事業名：【継続】防犯外灯管理運営事業・整備事業） ※予算概要P31

次に、6点目の基盤部門である「しっかりとした基盤を備えたまち」についてでございます。

- ① まちづくりの拠点施設として、大柿市民センターを新築いたします。  
（事業名：【新規】大柿市民センター新築事業） ※予算概要P33, 38
- ② まちづくりや地域活動、生涯学習活動の拠点として、（仮称）切串交流プラザ及び（仮称）飛渡瀬交流プラザの設計を実施いたします。  
（事業名：【新規】公共施設再編整備事業） ※予算概要P33, 38
- ③ ライフラインである路線バスに親しむ機会を設けることにより、利用促進と需要喚起及び高齢者等の外出支援を図るため、誰でも運賃を払わずに、第三セクターである江田島バスに乗車できる「無料乗車デー」を実施いたします。  
（事業名：【新規】路線バス無料乗車デーの実施（生活交通路線維持費補助金））  
※予算概要P33, 42
- ④ 安全な道路運行を確保するため、市道の維持管理及び橋りょうの点検・補修を実施いたします。  
（事業名：【継続】道路維持管理事業） ※予算概要P33



- ⑤ 空き家等に対する対策を総合的・計画的に推進するため、実態調査を行った上で、空き家等対策計画の見直しを実施いたします。

(事業名：【拡充】空家等対策計画更新事業) ※予算概要P34, 49

次に、7点目の地域部門である「地域が元気で、にぎやかなまち」についてでございます。

- ① 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、来日する選手団等と、オーリーブを核とした交流事業を展開し、今後の継続的な交流を図ってまいります。

(事業名：【新規】東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流事業)

※予算概要P36, P41

- ② 市外の子供との交流と地域の活性化を図るため、市民とともに修学旅行生の受け入れを実施いたします。

(事業名：【継続】体験型修学旅行受入事業) ※予算概要P35

- ③ まちづくりの活性化を図るため、地域や市民団体が主体となって取り組むまちづくり活動への支援を実施いたします。

(事業名：【継続】まちづくり団体支援補助金) ※予算概要P35

- ④ 市内外の人々が交流・活動する場「移住交流拠点施設フウド」の運営などにより、市外の企業人材や移住希望者の誘引を図ってまいります。

(事業名：【継続】交流定住促進協議会補助金) ※予算概要P36

- ⑤ 都市部に在住する人材を地域おこし協力隊として登用し、地域の課題解決や活性化を図ってまいります。

(事業名：【継続】地域おこし協力隊事業) ※予算概要P36

最後に、企業会計についてでございます。

- 水道事業については、水道施設耐震化等の整備を実施し、安全でおいしい水の安定供給を図るとともに、今後も水道事業をしっかりと維持するため、広域連携による企業団設立準備組織への参画を図ってまいります。

(事業名：水道事業) ※予算概要P34

- 下水道事業については、持続的・効率的な施設の更新改築や維持管理などに努め、生活環境の改善や水環境の保全を図るとともに、事業の継続性・安定性を確保するため、本年1月の上下水道事業審議会の答申を踏まえた使用料の改定を図ってまいります。

(事業名：下水道事業) ※予算概要P34

なお、これらの施策が十分に効果を発揮するには、実行する人の熱意や創意工夫が欠かせません。

令和3年度においては、現在策定中の市行財政経営計画に基づき、「健全で持続可能な財政運営」「効果的・効率的な行政運営」とともに、「職員の意識改革と人材育成の推進」に取り組むこととしております。

職員研修や県・他市町との人材交流に引き続き取り組み、市職員の人材力の向上を図ってまいります。

本市には、いくつもの誇るべき宝がございます。

穏やかな海と自然、柑橘や野菜、牡蠣などの特産品、海上自衛隊教育参考館や江田島青少年交流の家、さとうみ科学館、海辺の新鮮市場などの施設、そして何よりも温かく前向きな人々など、枚挙にいとまがありません。

最近では、市外の方から、本市に関して、「話題をよく聞く」「様々なことに前向きにチャレンジしている」「活発に活動する人が増えている」といった嬉しい声を聴くことが多く、本市に良い風が吹いていることを実感しております。

アップルを設立した、スティーブ・ジョブズ氏の言葉に、「偉大な製品は、情熱的な人々からしか生まれない」というものがございます。

また、パナソニックの創業者である松下幸之助氏の言葉に、「とにかく考えてみることであり、工夫してみることであり。そして、やってみることであり。失敗すればやり直せばいい。」というものがございます。

今、我々が直面している、疾病の克服と新たな社会への変革、人口減少傾向の改善というテーマは、まだ誰も克服していない課題といっても過言ではございません。

当然、必ず成功する方程式も、一気に状況を打開する処方箋もございません。

しかしながら、我々には、いくつもの宝がございます。

「江田島市、そして市民にとって何が最善か」という点を唯一の判断基準としつつ、徹底的に考えた上で、失敗を恐れず情熱的に取り組み、宝を活かしながら、小さな成功をひとつひとつ積み重ねていく。

「江田島市をより良いまちにする」という強い信念を職員と共有し、施策を推進してまいります。

こうした姿勢のもと、この大きな時代の変革期に、市民の皆様の安全で安心な暮らしを守り、将来に渡って活力溢れる江田島市の礎を築くべく、全力で市政に取り組むことを申し上げ、新年度の予算説明とさせていただきます。